

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	一般用医薬品販売制度実態把握調査事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局		作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 辺見 聡			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成18年4月18日 参・厚生労働委員会)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	薬機法の趣旨を踏まえ、新たな一般用医薬品販売制度の実効性を確保するため、国民の立場から改正法の遵守状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するため、一般消費者としての調査員を選定し、全国の薬局、店舗販売業者等を訪問の上、その店頭等において覆面で調査を実施する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	18	18	18	18				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		18	18	18	18	0			
	執行額		10	15	15					
執行率 (%)		56%	83%	83%						
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		56%	83%	83%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医薬品審査等業務庁費		18							
	計		18	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	調査対象薬局における薬 機法遵守率の向上を図る。		第1類医薬品の販売につ いて文書を用いて詳細な説 明があった割合	成果実績	%	66.6	66.2	集計中	-	-
				目標値	%	67.5	66.6	66.2	-	28年度実績数
				達成度	%	98.7	99.4	集計中	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		「医薬品販売制度実態把握調査」調査結果報告書								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	全国で一定規模を目処に、①薬局及び店舗販売業者 等店舗の訪問調査、②薬局等が開設するインターネット サイトの調査、③配置による医薬品販売の調査を実施 することを活動指標とする。			活動実績	店舗等	5,647	5,521	集計中	-	-
				当初見込み	店舗等	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X:執行金額(千円) / Y:活動実績(店舗等)			単位当たり コスト	円	1,813	2,773	集計中	3,380	
				計算式	X / Y	10,238/5,647	15,307/5,521	14,962/集計中	18,252/5,400	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること(I - 6)								
	施策	医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、新医薬品等の安全対策等を推進すること(I - 6 - 2)								
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	一般用医薬品販売についての実態把握調査により販売ルールの遵守状況を確認し、結果に応じて、地方自治体や関係団体等を通じて販売者に対し、販売ルールの遵守徹底を求め、第1類医薬品販売時の薬剤師による説明を徹底させることにより、当該医薬品を使用する国民の安全・安心に資することができると思込まれる。									
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であるため、国民や社会のニーズを的確に反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	薬事法改正による新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するものであり、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であり、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先は、一般競争入札(最低価格落札方式)により選定しており、選定方法は妥当といえる。一者応札への対応としては、履行期間に余裕をもたせる等、次回の入札に向けて改善を実施する。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	一般競争入札により単位当たりコストの削減に努めている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	不用額については、入札差額によるものである。						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	第1類医薬品の販売について、文書を用いて詳細な説明があった割合はおおむね目標を達成しており、成果目標に見合ったものとなっている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績はおおむね見込みに見合ったものとなっている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	成果物は厚労省HPなどで公表し、各方面で活用されている。					

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	第1類医薬品の販売について文書を用いて詳細な説明があった割合はおおむね目標を達成しており、引き続き調査対象薬局における薬機法遵守率の向上を図ってまいりたい。また、一般競争入札(最低価格落札方式)の結果、契約金額が予定を下回ったため経費の節減を図ることができた。				
	改善の方向性	平成29年度以降も継続的に改正法の定着状況の把握に努める。また、調査結果を広く公表等することにより、医薬品販売の適正化を図るとともに一層の適正化方策を検討する。また、一者応札への対応として、履行期間に余裕をもたせる等、次回の入札に向けて改善を実施する。なお、目標は達成できており、不用額についても入札差額によるものであることから、仕様の見直し等を行う。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	205	平成23年度	182	平成24年度	151	
平成25年度	177	平成26年度	191	平成27年度	200	
平成28年度	200					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を しているかについて補足する) (単位: 百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	<pre> graph TD A[厚生労働省 15百万円] --> B["【一般競争契約(最低価格)】 A. ソフトブレインフィールド(株) 15百万円"] B --- C["【一般用医薬品販売制度実態調査】"] </pre>					
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. ソフトブレインフィールド(株)			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般用医薬品販売制度実態調査	15				
計		15	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 ソフトブレインフィールド(株)	5010701021108	医薬品販売制度実態調査	15	一般競争契約(最低価格)	1	81.9%	-

